

HSK なんれん

おとふけ

No.64

昭和 48 年 1 月 13 日 第三種郵便物許可

HSK通巻第 410 号

2006 年 5 月 10 日

毎月 10 日発行 (1 部 100 円)

(会費に含まれています)

編集：財団法人北海道難病連音更支部

発行：北海道身体障害者団体

定期刊行物協会 (HSK)

お花見のご案内

- ◆ と き 2006 年 6 月 18 日(日) 午前 10:00~14:00
- ◆ 会 場 筒井温泉 (音更町オサルシ 1 番地 Tel 46-2301)
- ◆ 参加費 大人一名 1,000 円 (入浴、食事、飲物)
子供一名 500 円 (小学生以下)
当日、生ビールを飲む方は自己負担でお願いします。
- ◆ 内 容 午前中 スカットボール、
パークゴルフ (道具貸し出し無料)、
ボーリング (一回 500 円、靴代含、自己負担)、
入浴、散歩、雑談、カラオケ (会食会場にて)

12:00~14:00 会食
- ◆ 送迎バス 行き 10:00 総合福祉センター
10:10 木野支所
10:20 宝来、ひびき野
帰り 14:00 温泉出発

◇ 自家用車の方は 10:40 までに会場へ集合してください。
◇ 車イス用トイレはありませんが、介助ボランティアがいます。

◇ 申し込み〆切 6 月 13 日(火)
◇ 申し込み先 難病連音更支部



目 次

お花見のご案内	表紙
「まず、参加することから始めよう」 大久保支部長	1P
2005年度 活動報告 ①	2P
2005年度 活動報告 ②	3P
2005年度 決算報告 収入の部	4P
2005年度 決算報告 支出の部	5P
監査報告書	6P
2006年度 活動計画	7P
2006年度 予算書 収入の部	8P
2006年度 予算書 支出の部	9P
2006年度 音更支部役員	10P
全道集会のご案内	11P
全道集会の協賛広告・ご寄付のお願い	11P
「福祉まつり in おとふけ」に参加します	12P
「どんぐりの家共同作業所」はNPO 法人へ移行します	12P
特定疾患医療受給者の通院交通費助成について	13P
夫の実家を訪ねて / 編集後記	最終ページ

まず、参加することから始めよう

支部長 大久保 龍雄

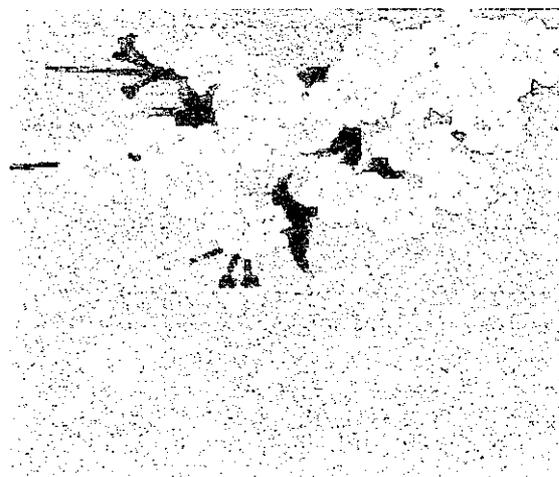
5月の中旬になってようやく桜の花を見ることができ、気温もぐんぐん上昇してきました。それにしても、3月末の大雪や4月の天候不順など、私たちにとっては体調を維持するのに苦労する日々でした。

会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。日ごろ、音更支部の運営に対し特段のご支援、ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。お蔭様にて予定した行事等は滞りなく実施することができました。特に全道集会での野球観戦は大変好評でしたし、あの集会以降札幌ドームに通う車椅子の方々の姿が目立つようなになったそうです。

さて、北海道では、肝炎・橋本病が難病対策の医療費助成対象からはずされました。さらには、障害者自立支援法（自立支援医療）の施行、介護保険もまた幾多の課題を抱えながら進められています。私たちは患者・家族にかかる負担を少しでも軽減するために、問題点を明らかにし、みんなの力を結集して改善のための活動を進めていくことが必要だと思います。

今年度の「患者と家族の全道集会」は、帯広市で開催されます。障害者自立支援法についての講演や、分科会での患者・家族の交流など多くの成果が期待されますので、多数の会員の方々が参加されるよう願っています。

支部の行事等を計画するに当たっても「会員一人ひとりの笑顔が見える活動」を続けてまいりたいと思いますので、本年度も一層のご協力ご支援をお願いいたします。



2005年 度 活 動 報 告 No.1

活動月	内 容	場 所	人 員
4月	事務局会議	事務局にて	4人
	支部総会	木野コミセン	7人
5月	全道支部協議会	札幌	1人
	機関紙会議 (2回)	事務局	6人
	機関紙発行 No.62		
6月	役員会	木野コミセン	7人
	行事会議 (花見)	事務局	3人
	花見	簡保の宿	22人
	作業所運営委員会との勉強会	木野コミセン	15人
	道東地区協議会	釧路	1人
7月	役員会	木野コミセン	6人
	町長と懇談	役場	2人
	福祉まつり出店準備作業	事務局	3人
	福祉まつり in おとふけ参加	総合福祉センター	12人
	行事会議 (全道集会)	事務局	6人
8月	帯広保健所保健師懇談	事務局	3人
	全道集会参加 1泊2日	札幌	14人
	役員会	木野コミセン	9人
9月	佐々木道議野外交流会	文化センター	2人
	役員研修会会場見学と打ち合わせ	笹井ホテル	3人
	患者・家族交流会	木野コミセン	8人
	作業所運営委員会との勉強会	木野コミセン	11人
10月	脊髄小脳変性症友の会 医療講演会の協力	帯広市総合福祉センター	2人
	役員会	木野コミセン	7人
	作業所運営委員会との勉強会	木野コミセン	9人
	機関紙会議	事務局	4人
11月	クリスマス実行委員会 1回目	木野コミセン	8人
	機関紙発行準備作業	事務局	3人
	機関紙 No.63 発行		
	クリスマス実行委員会 2回目	ふれあい交流館	12人
	クリスマス最終打ち合わせ	事務局	3人
12月	クリスマスパーティ	ふれあい交流館	112人
	役員会	共栄コミセン	8人

2005年 度 活 動 報 告 No.2

活動月	内 容	場 所	人 員
1 月	役員会	木野コミセン	7 人
	医療講演会	木野コミセン	22 人
	行事会議（役員研修会）	事務局	3 人
2 月	佐々木道議新年交流会	共栄コミセン	2 人
	役員会	木野コミセン	8 人
	役員研修会打ち合わせ	笹井ホテル	6 人
	役員研修会最終打ち合わせ	木野コミセン	7 人
	道東地区支部役員研修会 1泊2日	笹井ホテル	56 人
3 月	会計監査・実務担当者会議	札幌	1 人
	役員会	木野コミセン	6 人

○ 日本難病・疾病団体協議会（J P A）国会請願署名 50 筆、募金 3,850 円

○ 募金箱設置場所

- ・向平健康堂薬局様
- ・十勝勤医協柳町医院様
- ・帯広徳洲会病院売店様
- ・J A木野第 2 給油所様
- ・木野温泉様
- ・音更町役場様

○ 相談件数

- ・病院・施設について（4 件）
- ・難病連について（2 件）
- ・医療費について（2 件）
- ・介護保険について（1 件）

○ 会員数 2006 年度 4 月 1 日現在 107 名

財団法人 北海道難病連

2005年度 支部決算報告書

自 : 2005年 4月 1日

至 : 2006年 3月 31日

支部名 音更支部

収入の部

科 目	2005年度予算	2005年度決算	備 考
支部運営助成金	95,000	92,000	道難病連助成金
市町村補助金	270,000	300,000	町より3万円役員研修当番支部
その他の助成金		20,000	
参加費収入	70,000	485,400	花見、クリスマス、役員研修会
寄付金収入		50,000	西條様、町
協力会還元金収入	40,000	28,500	道難病連協力会
募金箱還元金収入	10,000	3,239	道難病連募金箱
署名募金還元金収入	10,000	770	JPA 国会請願署名募金
販売事業収入	10,000	3,240	ペ飾り
その他の事業収入	22,000	10,460	中古本他
受取利息収入	50	4	
雑収入	463	2,051	
難病連事業参加助成金収入	60,000	49,260	本部会議他
医療講演会助成金収入	10,000	8,053	
2.19募金還元金収入		1,200	
積立金取崩収入			
前期繰越金	52,487	52,487	
収入合計	650,000	1,106,664	

支出の部

科 目	2005年度予算	2005年度決算	備 考
会議費	70,000	55,114	
支部役員会	30,000	31,454	交通費、資料、通信
本部会議費	40,000	23,660	全道総会、実務担当者会議、旅費
その他の会議費			
事業費	494,000	955,255	
地区集会費			
全道集会	200,000	194,510	札幌1拍2日貸切バス参加費
医療講演会	10,000	16,106	講師謝礼、案内ハガキ代他
検診相談会			
機関紙・誌費	30,000	11,112	年2回発行
研修会	40,000	499,074	道東地区役員研修参加費
レク・交流会費	150,000	162,657	花見、クリスマス他
地域部会援助費			
相談員補助			
活動費	50,000	60,726	ボランティア保険、交通費他
負担金・分担金	11,000	8,000	JPA国会請願行動
HSK負担金	3,000	3,070	第三種郵便
拠出金			道難病連「患者・家族団体活動育成基金」
維持運営費	86,000	61,757	
事務局費	10,000	6,000	電気料
事務消耗品費	30,000	22,427	トナー、インク代
通信費	40,000	33,330	電話、切手他
交通費			
資料費	6,000		
雑費			
積立金支出			
予備費			
支出合計	650,000	1,072,126	
次期繰越金		34,538	

財団法人 北海道難病連 支部会計監査報告書

財団法人 北海道難病連 代表理事 様

記

1. 支部名 音更支部

2. 2005年度 支部決算報告書

上記の件について、厳正なる監査の結果、適正であることを報告いたします。

平成18年4月4日

支部会計監査

氏名 飛鷹清宏 

氏名 荒壺勝 

2006年度 活動計画

月 日	内 容	場 所
4月	支部総会	木野コミセン
5月	全道支部協議会	札幌
	機関紙発行	
6月18日	お花見	筒井温泉
6月	道東地区支部協議会	釧路
7月23日	福祉まつり in おとふけ	総合福祉センター
8月5日・6日	第33回北海道難病連全道集会	帯広
10月	講演会・相談会	未定
11月	機関紙発行	
12月3日	第16回クリスマスパーティ	ふれあい交流館
2月24日・25日	道東地区支部役員研修会（1泊2日）	厚岸・浜中支部担当
3月	患者・家族の交流会（観劇）	笹井ホテル
	会計監査・実務担当者会議	札幌

財団法人 北海道難病連
2006年度 支部会計予算書

自 : 2006年 4月 1日
至 : 2007年 3月 31日

支部名 音更支部

収入の部

科 目	2005年度決算	2006年度予算	備 考
支部運営助成金	92,000	92,000	道難病連助成金
市町村補助金	300,000	270,000	町より
その他の助成金	20,000		
参加費収入	485,400	80,000	花見、クリスマス他
寄付金収入	50,000		
協力会還元金収入	28,500	40,000	道難病連協力会
募金箱還元金収入	3,239	10,000	道難病連募金箱
署名募金還元金収入	770	10,000	JPA国会請願署名募金
販売事業収入	3,240	13,000	♪飾り他
その他の事業収入	10,460	30,000	中古本他
受取利息収入	4		
雑収入	2,051	462	
難病連事業参加助成金収入	49,260	60,000	
医療講演会助成金収入	8,053	10,000	
2.19募金還元金収入	1,200		
積立金取崩収入			
前期繰越金	52,487	34,538	
収入合計	1,106,664	650,000	

支出の部

科 目	2005年度決算	2006年度予算	備 考
会議費	55,114	60,000	
支部役員会	31,454	30,000	
本部会議費	23,660	30,000	
その他の会議費			
事業費	955,255	461,000	
地区集会費			
全道集会	194,510	80,000	2,000円×40人(レプション参加者のみ)
医療講演会	16,106	20,000	講師謝礼他
検診相談会			
機関紙・誌費	11,112	50,000	会報年2回発行
研修会	499,074	50,000	厚岸1泊2日旅費・参加費補助
レク・交流会費	162,657	200,000	花見、クリスマス他
地域部会援助費			
相談員補助			
活動費	60,726	50,000	ボランティア保険、交通費他
負担金・分担金	8,000	8,000	JPA国会請願
HSK負担金	3,070	3,000	第三種郵便
拠出金			道難病連「患者・家族団体活動育成基金」
維持運営費	61,757	129,000	
事務局費	6,000	30,000	電気、修理費他
事務消耗品費	22,427	50,000	トナー、インク他
通信費	33,330	40,000	電話、切手
交通費			
資料費		9,000	
雑費			
積立金支出			
予備費			
支出合計	1,072,126	650,000	
次期繰越金	34,538		

2006 年度 音更支部役員

役 職	氏 名	部 会
支 部 長	大久保 龍雄	バージャー病友の会
副支部長 (監査兼務)	荒 重 勝	後縦靭帯骨化症友の会
事 務 局 長	穀内 さかえ	ベーチェット病友の会
会 計	村田 美由紀	潰瘍性大腸炎・クローン病友の会
監 査	飛 鷹 清 広	腎友会 (人工透析)
運 営 委 員	宮 内 浩 子	橋本病友の会
//	竹 内 淑 子	心臓病の子供を守る会 (心友会)
//	児 玉 香 枝 子	小鳩会 (ダウン症候群)
//	戸 崎 陽 子	脊髄小脳変性症友の会
//	村 中 仁 志	脊髄小脳変性症友の会
//	村 中 ルミ子	脊髄小脳変性症友の会
//	荒 恵 美 子	後縦靭帯骨化症友の会
//	穀 内 律 雄	ベーチェット病友の会

★ (財) 北海道難病連評議員 穀内 律雄

事 務 局

(財) 北海道難病連 音更支部事務局
音更町

第 33 回

難病患者・障害者と家族の全道集会(十勝大会)の案内

○歓迎レセプション

8月5日(土) 18:00~20:00

会 場 ホテルノースランド帯広2階ノースランドホール

参加費 4,500 円

○分科会

8月6日(日) 9:00~12:00

会 場 十勝プラザ・帯広市民文化ホールほか

○全体集会

8月6日(日) 12:30~15:30

会 場 帯広市民文化ホール 大ホール

・詳細は近くなりましたら北海道難病連より案内が来ますので、その時にお申し込み下さい。

・参加費補助 音更支部会員、家族で歓迎レセプション参加の方のみ 2,000 円補助します。

全道集会(十勝大会)を成功させるため協賛広告・ご寄付のお願い。

さてこの度、本年8月5日、6日帯広市において「第33回難病患者・障害者と家族の全道集会」(十勝大会)を開催することになりました。

私どもはこの集会の開催により、難病患者、障害者を取り巻く問題に対する理解を広げ、医療と福祉の更なる充実、発展を目指しています。

つきましては、本集会の主旨をご理解いただき、ご配慮とご支援をいただけますようよろしくお願い申し上げます。

プログラム協賛広告料金について

標準サイズ	26 ^ミ ×72 ^ミ	9,000 円	1 ページ 16 コマ
倍サイズ	54 ^ミ ×72 ^ミ	15,000 円	1 ページ 8 コマ
2分の1サイズ	110 ^ミ ×144 ^ミ	50,000 円	
1 ページサイズ	222 ^ミ ×148 ^ミ	100,000 円	

➤ 詳しくは事務局へご連絡下さい。

➤ 申し込み〆切 6月30日

「福祉まつり in おとふけ」に参加します

主 催 音更町社会福祉協議会

日 時 2006年7月23日(日) 10:00～

会 場 総合福祉センター

音更支部では、当日出店して難病連音更支部を知っていただくことと、運営資金を少しでも得るために古本他を販売する予定です。

※ 古本提供と販売のお手伝いをして下さる方、ご協力をお願いいたします。

- ・ 古本～文庫本、小説、趣味の本、子供本等、
 - 出版年月が10年以内の本
 - 事務局へご持参下さるか、集荷にも伺います。
- ・ 販売お手伝いの方～当日9:30会場に集合してください。
 - 午前中だけ、午後だけ、1時間位でもかまいません。
 - 支部事務局へご連絡ください。お待ちしております。



「どんぐりの家共同作業所」はNPO法人へ移行します

2001年4月(財)北海道難病連音更支部が設置主体として開設した「どんぐりの家共同作業所(音更町東音更西2線元南中土幌児童会館)」は、開所より5年が経過しました。

「どんぐりの家共同作業所」は、音更町における障害者及び難病患者を対象とした唯一の小規模地域共同作業所であり、設立当初より将来的には難病連音更支部より切り離すことを念頭に運営してきました。

また、本年4月から制定された障害者自立支援法で新事業体系に対応しながら地域の作業所として今後の発展につなげなければならない状況が生じています。

この様な状況を踏まえて(財)北海道難病連の承認も得られましたので、音更支部として「どんぐりの家共同作業所」をNPO法人に移行することを、4月12日の音更支部総会において決議しましたので会員の皆様にご報告いたします。



特定疾患医療受給者の方へ通院交通費助成を開始します

音更町では、本年4月より特定疾患医療受給者の方が、当該特定疾患の治療のために十勝管外の医療機関へ通院する際の交通費の一部を助成することとしましたのでお知らせします。

助成の内容については次のとおりとなります。

○ 対象者及び対象となる交通費

- ・ 音更町在住で、特定疾患医療受給者証の交付を受けている方が、当該特定疾患の治療のために十勝管外の医療機関に通院する場合の交通費が対象になります。
- ・ 本年4月1日以降の受診に係る交通費から対象となります。

○ 助成額

- ・ 算定方法
 - バス・汽車・航空機利用の場合
運賃の実費（身体障害者手帳で割引が可能な場合は割引後の運賃）×1/2
 - 自家用車の場合
燃料代相当額として次により算定する額
1往復距離（km）×30円×1/2
- ・ 月額支給限度額 3万円

○ 申請方法

- ・ 交通費の助成を申請する場合、次の書類を役場福祉課に提出していただくことになります。
 - (1) 申請書（役場窓口にあります）
 - (2) 特定疾患医療受給者証の写し
 - (3) 通院証明書（役場窓口にある様式に必要事項を記載の上、受診している医療機関で証明を受けてください。）
- ・ 3ヶ月分をまとめて申請していただき、ご指定の口座に振り込みいたします。

通院月	申請及び支給月
4～6月	7月
7～9月	10月
10～12月	1月
1～3月	4月

※ 医療機関によっては、通院証明書が有料となる場合があります。

※ 申請を予定されている方は、あらかじめ次の問合せ先までご相談ください。

○ 問合せ先

〒080-0198

北海道河東郡音更町元町2番地

音更町役場民生部福祉課障害者福祉係

電話 0155-42-2111（内線526）

FAX 0155-42-5160

夫の実家を訪ねて

夫の郷里に 里帰りしてきました。
春らんまん 桜が満開だった。
四国の山の中… のどかな里山の風景。
うぐいすの鳴き声 つばめの巣作り
生きてることを 実感し 自然と一体化する喜び
疲れていた体と 心を癒してきました。

10年振りにお会いした 親戚が 「あんたさあ…変わらんなあ」と…
そう言われて悪い気は しなかったが 皆さんと挨拶を終える頃には
背中が丸くなっている 姿に気がつく
歳には勝てないですね。
それでも 気と心は、若くありたいと そう自分に言い聞かせて
今日も マイペース (た)



編集後記

このところの天候不順には、お手上げ。五月半ばに雪が降ったり、その後は連続の夏日。

とても体がついていきません。

私事ですが、何十年振りに東京に行ってきました。空港までのタクシー運転手さんのおかげでお土産話が増えました。周りに心配をかけた旅でしたが、アッという間に終わってしまい、残りは疲れのみかな。

でも行ってきてよかったと思っています。 (と)

HSK・なんれん おとふけ

編修人 (財)北海道難病連音更支部 大久保龍雄
音更町!

昭和48年1月13日 第三種郵便物認可

2006年5月10日発行 通巻第410号

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 細川久美子